

福島のぶゆき国会日誌

【委員会】

●国土交通委員会にて気象業務法改正案への質疑に立ちました！

26日、気象業務法及び水防法改正法案の質疑に立ちました。この法案は、①予測技術の向上により洪水・高潮の特別警報の創設、②外国法人による気象予報への規制の二つを大きな柱とするもので、気象予報士である妻の意見も聞きながら質問を準備しました。



質疑動画も
ご覧ください



まず②について、法案では外国法人が無許可で気象予報を行ってウェブサイトやSNSで行った場合、氏名などを気象庁ホームページ等で公表することになっていますが、こんなものが抑止につながるとは思えません。無許可での気象予報は気象業務法42条の2違反で50万円以下の罰金刑です。容赦なく摘発して、むしろ予報情報の削除命令などの規定を設ける必要があるのではないか、と問いました。

①については、これまでの私の水害支援の経験も踏まえながら、中小河川の氾濫に備えた体制を作るべきことと、プッシュ型の情報提供ができる主体に土地改良区やため池管理者を加えるべきであることを指摘しました。

【国会活動】

●超党派高次脳機能障害者の支援に関する議員連盟に出席しました！



19日、役員を務める超党派高次脳機能障害者の支援に関する議員連盟では、高次脳機能障がい者支援法案の議員立法が各党の党内手続きで了承されたことが報告されました。この臨時国会で成立させられそうです。私も、高次脳機能障害の患者のご家族など地元の方からご相談を受けてきました。医療、障がい者福祉などの狭間に陥ってしまっている政策を総合的に進めるスタートとなる法案です。個別政策の充実に向けて、これからも継続的に取り組んでまいります。

【講演】

●「三島由紀夫と水戸学の精神」と題した講演をいたしました！



24日、三島由紀夫・森田必勝が市ヶ谷の自衛隊で散った55年目の命日に、民族派団体一水会が主催する「三島・森田両烈士追悼 恢弘祭」に参列するとともに、「三島由紀夫と水戸学の精神」と題した講演をいたしました。

●東大で特別講義を実施しました！

21日、朝日新聞の星野典久論説委員にお招きいただき、東京大学大学院法学政治学研究科の「政治とマスメディア演習」で、「「平成の改革」の時代と昨今の政治状況」というタイトルの特別講義を行ってまいりました。政治改革論の第一人者の谷口将紀教授との共同授業です。

